

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

当ブログ『らくだ図書館』は、本日をもって閉館いたします。
これが最後の更新となりますが、今までありがとうございました。

……というのは、単なるエイプリルフールです。

いやー。

何しろ文章を書くのが至福なので、やめろと言われてもやめませんよー。

とまあ、そういうわけで。

ついに4月となり、電撃の締切りまで、あと10日になってしまいました。

その事実がむしろエイプリルフールであって欲しいですが、このまま予定通りに作業が進めば、今書いている作品は仕上がりそうです。

今年は新作無理だと思ったから、とりあえず本当によかった……。

やっぱり過去の作品が通過するよりも、その賞のために書いた新作が通過する方が嬉しいし、勉強になる部分が多いですもんね。

過去の作品だと、せっかく評価シートをもらっても、指摘の内容がすでに古くなっていて、自分の現状にマッチしない場合があったりするし。

いい点や悪い点を指摘されても、すでに知っていることだったり。

とにかくそういうわけなので、評価シートをゲットするためにも、まずは一次を通過して欲しいなと思います。

「まずは一次を」なんて言うと、強力な死亡フラグになりそうですが、とにかく絶対に一次通過！

その上で、去年以上の成績を出せればいいなと思います。

今回書いている作品は、主人公もヒロインも社会人で、おまけに視点が交互に入れ替わるという、ラノベで無理な要素を積極的に入れまくり。

- ・ 主人公は高校生にしろ
- ・ 感情移入できるように一人称で書け
- ・ 女性キャラの視点は避けた方がベスト

という某賞のアドバイスを、完全に無視した作品だけい！

いや。

別に反抗期じゃないですよ。

すでにその出版社と契約が済んでいて、「こういう内容で書いて欲しい」と言われたら、そういう作品を全力で書きますけれど。

レーベルの戦略を無視して、自分の書きたい物を押しつけるのは、単なる書き手のワガママですもんね。

しかし、現時点の自分はいくまでも投稿者。

だからこそ、何を書いてどの賞へ出すかは、自分自身で決めていいはずであって、選評に従うか従わないかは自由だと思うわけです。

「主人公が社会人」も「女性キャラ視点」も「視点人物を頻繁に変更」も、電撃では普通に通ったし、別に注意もされませんでしたからね。

とまあ、そんな意気込みで書いた、今回のヤンデレ作品ですが。

とりあえず完成はしたので、これから紙に印刷した状態で、読み直しを進めていこうと思います。

家族がいない時にこっそりする行動 【ワナビ部門】

- 1位 原稿の印刷
- 2位 選評が届いてないか、郵便受けをチェック
- 3位 レターパックの大量購入

というわけで、原稿を印刷しました！

いや、だって……。

印刷はやっぱり、一人じゃないと……。

というのも。

自分が小説投稿をしていることは、もうとっくに家族中にバレているので、開き直って堂々と印刷していたんですよ。

そしたらある時、三連続でこう言われたんです。

「あんた、まだ投稿やってたの？」

「もうとっくに、デビューしたと思ってた」

「この前、出版社から封筒が来てたでしょ？ あれ、印税の通知かと思ったんだけど」

……………。

本当にすみません。

まだ投稿やってるし、デビューしてないし、あの封筒は一次落ちの評価シートです。

ってというか、どうして謝らなきゃいけないんだ！？

という悲しいトラウマがあるので、印刷は一人の時にするべきだな、と。

とにかく、これで原稿の準備はできたので、今から読み直しを頑張ろうと思います。

応募原稿の読み直しが終わって、いよいよあらすじを書く段階に。

それにしても……。

あらすじを書くのって、本当に難しいですよ……。

自分はまず 1000 文字のあらすじを書いて、それを削りながら、800 文字のあらすじを作成するんですよ。

ちなみにどうして 2 バージョン作るかっていうと、文章修行のためではなく、ただ単に使い回し時の労力削減のためなんです。

しかしこれが大変で、表現を変えるだけでは 200 文字も削れないので、どこか必ず情報量を減らさなきゃいけないんですよ。

そうすると、1000 文字のあらすじに比べて、800 文字のあらすじが説明不足で、ものすごく不親切に見えてしまうという状況に。

あとあらすじでツライのは、作品のキーとなる重要な秘密を、あっさり書かなきゃいけないこと。

この秘密が書きたくて、この作品を書いたんだ……！

たっぷりと枚数を使って、楽しみながら書きたいよ……！

という気持ちを封印して、一行であっさり秘密を暴露。

日常モノの自分でもそうなんだから、推理小説を書いている方なんかは、もっと強くそう思うんでしょうね。

まあとにかく、あらすじも無事に書けたので、しばらく寝かせて来週の頭に投函しようと思います。

もう原稿は準備できたけど、配達中に吹き飛ばされるかもしれないから、爆弾低気圧が去ってからポストに投函するんだい！

というわけで最終チェックをしていたところ、「スーツの女性」と書いたつもりが、「シーツの女性」になっているという、ありえない誤入力を発見しました。

シーツの女性……。

まあシーツ一枚っていうのは、ある意味スーツ以上に、勝負服かもしれないが……。

しかもふざけた場面ではなく、真面目な仕事中の場面だったので、余計に激しく衝撃的でした。

取引先との大事な商談は、シーツ一枚で勝負よ……！（違う勝負だ）

とにかくまあ、封筒を閉じる前で、本当によかったです。

これが封筒を閉じた後だったら、ショックで眠れないところでした。

爆弾低気圧、ありがとう！

そして、こちらに書き忘れていましたが。

例によって、3月分のブログをアップしたので、よろしければご覧くださいませ。

『らくだ図書館（15）』

<http://p.booklog.jp/book/69095>

このパブ版、最初はブログを見やすくする目的で作ったんですが、逆にパブからブログに来てくださった方もいるようで、書き手として本当に嬉しい限りです。

今後も力の続く限り更新しますので、引き続きよろしくお祈いします！

ソチ五輪が今年度の2月に迫っています！

何度か書いていますが、自分はスケートファンなので、今からとても楽しみです！

それにしても、これはロンドン五輪の時も思ったんですが。

目標を質問された選手って、ちょっと遠回しに答えますよね。

いい色のメダルを取りたいです、とか。

表彰台の高い位置に乗りたいです、とか。

オリンピックに参加する以上、本当はみんな金メダルを狙っているはずなのに、「目標は金メダルです」と明言する選手って実は少ないと思います。

でも、なんかそれって、ものすごくわかりますよね。

本当に大切な夢だからこそ、大事すぎて、簡単には口にできないんだなあ、と。

自分のようなダメワナビを、オリンピック選手に重ねるのもおこがましいですが、自分自身も本当にそうです。

作家を目指して投稿しているなんて、初対面の相手には絶対に言えません。

でもそれは、恥ずかしいから言えないわけじゃない。

後ろめたいから言えないんでもなく、ましてや怖いから言えないわけでもない。

その夢が、あまりにも大事すぎるから。

本当に叶えたいと思うからこそ、信頼できる人にしか言えません。

そうやって自分を隠すのは、時に孤独を感じるのですが、それだけ大切にしたい夢があるのは素敵なことだと思います。

そんな夢に出会えたことに感謝しつつ、これからも投稿を頑張っていきたいです。

「小説投稿」って、そもそも何なの？

小説を書いて、それを投稿して、通過したり落ちたりする。
簡単に言えば、それが小説投稿です。

でも、それだけじゃないですよ。

投稿に取り組んでいると、色々なことが起こります。
楽しいことも多いですが、それと同じくらい、つらいことも多いです。

周囲の無理解が原因で、ひどく孤独を感じたり。
一次落ちしたショックで、眠れない夜があったり。
評価シートの何気ない一文に、悔し涙を流すことがあったり。

それが全部「小説投稿」だと、自分は理解しています。

でも。
そうやって心から苦しめるのも、素敵なことだと思いませんか？

孤独も、眠れない夜も、そして悔し涙さえも。

それって投稿に適性があって、本気で取り組んでいるからこそ、はじめて出会える苦しみだと思うんですよ。

それは、投稿を知らない人には、決して辿り着けない領域です。

そんな素晴らしい能力が。
文章で奇跡を起こす能力が、わたし達投稿者にはあるんです。

とまあ、最近「奇跡」と言いまくって、宗教家のようになっている常木らくだですが。
つらいことがあるのも事実ですが、それでも投稿は、素晴らしい趣味だと思う次第です。

昨日（4月7日）、『春満開！MBSキャラまつり』を見てきました。



大阪近郊の方はご存知かと思いますが、MBSは梅田茶屋町のロフト横にあります。
あの場所は頻繁に通りますが、中に入ったのはこれが初めて！



本日出演のキャラクター。

自分は『鷹の爪』のやる気ないノリ（褒め言葉）大好きなんですが、レオナルド博士は出演キャンセルということで、ひたすら残念でした。

他にも色々なキャラがいますが、ダントツ人気ナンバーワンは、もちろんこの人！



くまモン！

生くまモンを初めて見ましたが、意外と（失礼？）動きが機敏です。
すごい人出でよく見えませんでした。ステージ上でくまモン体操も踊ってくれました。



みんなのアイドルくまモンですが、先月は、うめだ阪急の九州展にも登場したとか。

自分は惜しくも見逃しましたが、彼は結構色々な場所に出没するようなので、今後もチェックしていきたいと思います。

電撃戦、これにて完了。

賞の名前も電撃ですが、短期決戦という意味でも、今回は本当に電撃戦でした。

だって何しろ、書き始めたのが3月下旬……。

まあでも、無事に投稿できたからいいんだけど……。

それにしても。

今回の作品は、自分の中では、とても満足な内容に仕上がりました。

というのも、去年通った作品は、そこまで会心の出来でもなかったんですよ。

「これこそ自分の書きたい物だ！」ではなく、「こういう話も書けませー」という気持ちで書いた脱線作品だったので、自分の中ではそこまで本命でもなかったというか。

しかし今回はそれと違って、間違いなく「これこそ自分の書きたい物だ！」なので、落ちたらその分ショックだと思いますが、まずは総数発表と一次結果を楽しみに待とうと思います。

というわけで。

電撃に投稿された皆様は、7月10日の、一次発表の場で会いましょう。

去年は某所の「タイトル徐々にアップ」が最速でしたが、今年はどんな祭りになるのか、今からハラハラソワソワです。

常木らくだの名前がなかった場合は、渾身の自虐ネタで笑いを取る予定なので、このブログを見に来てね！

というわけで、7月10日の記事更新のハードルを無駄に上げつつ、今日のブログは以上です。

とりあえず、今夜は飲むぞー！

というわけで、今年も4月10日がやってきました。

毎年この日を境に、自分は執筆休息期に入るので、今後しばらくはインプットに励もうと思います。

え？

お前はワナビなんだから、ずっと小説書いてるって？

それもそうなんですけど、電撃に全力投稿してるから、通過するにしろ落ちるにしろ、結果を知ってから次回作を書きたいじゃないですかー。

それにしても、受賞枠が増えるというのは、どの程度増えるんでしょうね。

わざわざ記念企画として宣伝するくらいだから、一人や二人だけじゃなく、いつもの二倍くらいに増えて欲しいところです。

そして、気になる応募総数。

電撃は年を重ねるごとに激増している上に、今年は賞金と受賞枠が増えるという追い風もあって、軽く8000は越えるだろうなーと予想中。

新規参入の投稿者さんも多いだろうし、お馴染のメンバーも本気で投稿していそうだし、今年も熱い夏になりそうです。

自分は今まで「数打ち当たる」作戦だったんですが、今回は「量より質で勝負」作戦なので、その一作がどこまで行けるのか結果を待ちたいと思います。

こんな意気込みを書くと、死亡フラグになりそうだけど、別に構うもんか……！

意気込みを書いてこそ、小説投稿ブログなんだし……！

というわけで、まずはインプットの手始めに、ドラクエ7を（やっと）始めようと思います。

ついに電撃の締切りが終わり、作業の日々から解放されました。

好きでやっていることに「解放」というのも変ですが、そうはいつでも、やっぱり今は重圧から解放されて晴れ晴れとした気分です。

次はどこへ送ろうかなあ……。

とりあえずSDには今年も参戦しますが、他の予定はまったく決めていないので、今後しばらくは締切りと無縁の生活になりそうです。

「その状態だと、ブログに書くネタないでしょ？」と思われた方！

大丈夫です。

心配いりません。

コメントがまったくなかりょうと、PV数がどれだけ激しく落ち込もうと、小説投稿に関するひとりごとを毎晩ひたすら言い続けるブログ。

そうです。

それが『らくだ図書館』です。

まあでも、アレですよ。

一人でぶつぶつ言っているだけでも単に気持ち悪いだけですが、こうして文字にして発信すれば、読んで共感してくださる方がいるかもしれないので。

だからこそ。

気持ちを文字にするのって、とても大切なことだと思います。

そんなわけで、常木らくだのひとりごとを、今後どうぞよろしくお願いします。

桃源郷は山の奥にあり、オアシスは砂漠の中にあり、エルドラドは海の果てにある。
つまり、理想の場所というのは、つらく苦しい長旅の果てに存在するわけです。

投稿はそういう孤独な旅だからこそ、仲間の存在って大切だと思います。

自分は最初の二年はずっと一人で投稿していたんですが、ブログやツイッターを始めて以降は、ありがたいことに投稿仲間が増えつつあります。

どうして最初は一人でやっていたかという、単に人見知りだからっていうのもありますが、嫉妬してしまいそうで怖かったんですね。

もし仮に投稿仲間ができて、その人が自分より上の成績を出していたら、嫉妬してイヤな気分になるんじゃないかなあと。

しかし実際にそうなってみると、イヤな気分どころか、テンションが上がりまくる！！

知っている人が上位に残っていたりすると、「うっしゃ、そのまま行けえええ！」と思うし、ものすごく執筆の励みになります。

そして、その作品が受賞して本になった暁には、編集部あてに熱烈なファンレターを送ろうと計画中。
(メールやツイッターではなく、あえて編集部にファンレター)

……………。

という妄想をするのも楽しいので、やっぱり投稿仲間は大切だと思います。

まあとにかく、そういうわけで。

より多くの投稿者さんに自分を知ってもらうためにも、今後もこの投稿ブログは続けていこうと思います。

落選作品は、絶対の絶対に、ゴミクズなんかじゃない！

『スペシャル』でも熱く語りましたが、新人賞に漏れた落選作品の中には、隠れた名作がたくさん埋もれていると思います。

たとえば電撃なんか、応募総数が6000本で、受賞作がだいたい10本です。それなら、5990本はゴミクズかということ、そんなことは絶対にはないですよ。

それなのに「落選＝見込みがない」という固定観念によって、小説投稿をあきらめる人がいるというのは、自分にとってもものすごく悲しいことです。

いや、まあ。

投稿者の分際で、「悲しいことです」とか、お前は何者だって話ですが。

でも本当に、文章を書く能力は一生の財産だと思うので、それを持っている人には納得がいくまで執筆を続けて欲しいなど。

小説を一作完成させて、投稿を続けていくって、万人ができることではないですよ。それができる私達は、同じ能力を共有している、かけがえのない仲間だと思うんです。

だからこそ、自分は仲間を増やしたい。

すでにいる仲間は、減らしたくない。

直接的には名前を知らなくても、「投稿が大好き」という気持ちさえあれば、私達はとても大切な仲間になれるはずですよ。

だからこそ、今後も胸を張って、投稿を続けていきましょう！

自分の力は微々たるものですが、小説投稿者を一人でも増やすべく、今後も情報発信を続けていこうと思います。

先日 NU 茶屋町で食べた、創作コリアンランチ。



それにしても、レストランの看板に「創作」と書いてあると、ついつい振り返って見てしまいます。

なに、創作だと！？

こいつあ、同じ趣味を持った仲間か！？

……みたいな。

レストランだとわかっているのに、思わず反応してしまうっていう。

でも、そんな状態になるくらい、創作という趣味は素晴らしいと思います。

創作は消費するだけの趣味と違って、つらく苦しい瞬間も多いんですが、その分そこから得られる喜びは消費の比じゃないと思うんですよね。

それこそ文章能力だけじゃなく、自分を見つめ直して、人として大きく成長できる趣味。

そんな素晴らしい創作活動、仮に「やめろ」と言われても、もう絶対にやめられません。

……………。

最近どうしてこの手の記事が多いかというと、GA 一次落ちの評価シートが4通同時に届いたら絶対にへこむので、今のうちに自分自身を励ましているわけです。

とまあ、そういうわけで。

ランチ写真からの創作万歳からの自分励まし記事でした。

負けるな、自分……っ！

なろう、投稿完了！

実を言うと、再々延長もあり得ると思って、じっと様子を見ていたんですが、さすがに今度は大丈夫みたいなので、ラノベ作家になろう大賞に投稿しました。

「希望者全員に評価シート」につられて、今ある作品をまとめて投入する自分は、おそらく相当迷惑な投稿者だと思いますが……。

まあでも、作品を寝かせておいても、何も手に入らないですもんね。

一次落ちしてショックを受けたり、歯がゆい思いをすることがあっても、投稿して評価シートを集めればきっとプラスになるはずだ！

というわけで。

なろうの投稿が済んで、残すはえんためと、えんためガールズ。

去年に引き続き、少年系と少女系の両方に作品を送って、同時通過を目指したいと思います。

それが終わったら、あまり特定の賞を意識せずに、自分の好きな物を気ままに書いていく予定です。

なんと言うか、「次は MF だから萌えハーレム」とか、「次は GA だから軽めの日常モノ」とか、狙った作品を書くことに疲れてしまったので……。

GA で4 作品が一次落ちした時、心底こう思ったんですよね。

「狙って書いたのに落ちたら、自分に何も残らないじゃん？」と。

なので通過成績は下がるかもしれませんが、今後は「自分が納得できる作品を書くこと」を最優先に、のんびり投稿を続けていこうと思います。

すでに何度か書いていますが、自分は視点変更が大好きです。
今回電撃に送った作品も、メインキャラが三人で、視点が入れ替わる話でした。

視点変更反対派の主張として、「視点が変わるとキャラに愛着が湧きにくい」という意見があるようですが、自分はむしろ逆だと思います。

こう、なんて言うのかな。

本人の視点になった時は、内面を思いっきり描写できる。
他キャラの視点になった時は、表情や仕草や、客観的な印象を描写できる。

その辺の書き分けが書いていて楽しいと思うし、一人のキャラを色んな角度から楽しめるというか、単独視点よりもキャラの掘り下げができると思うんですよね。

何度もしつこいですが、それが理想的にできている作品が、『マリみて』だと思います。

様子さま視点の「祐巳」と、下級生視点の「祐巳さま」は、だいぶ印象が違います。
でも、片方の印象が嘘なわけじゃなく、両方合わせて「祐巳」なわけですね。

ただ、キャラの書き分けが十分にできていないと、そういう視点変更のメリットがいかされず、読み手を混乱させるだけの作品になってしまいます。

逆に言うと、その辺の問題がちゃんと処理できていれば、確実にプラス評価が得られると思うので、挑戦する価値はありますよね。

難易度は上がるけど、うまく書けば、自分の腕を見せられる。

その辺を意識して書いたのが今回の作品なので、死亡フラグを承知の上で何度も言いますが、絶対に通過して欲しいなあと思います。

GA一次の評価シートが、3通同時に届きました。

あれ？

4本落ちたはずなんだけど、何故3通？

そう思いつつ開封してチェックしたら、届かなかったのは『ザビエル様』でした。

……………。

あれが4本の中で一番の問題作だから、徹底的にダメ出しされるんだろうな……………。

まあとにかく、届いた3通を読んだんですが、評価はすべて「C」でした。

これ、なんて言うのかな。

色々とウケるように狙って書いたのに、その狙いがことごとく裏目に出た感じ。

たとえば「主人公がモテる理由がわからないと、読んでいる読者はしらけてしまいます」ってコメントされたんですが、最近のラノベがそういう傾向にあるから、あえてそういう物を書いたんですよ……………。

自分はむしろ男主人公を格好よく書くのが好きなんですが、それじゃ通過できないから主人公が無個性なモテハーレムを書いて、それがバッサリ否定されたこのどうしようもない無力感。

まあでも逆に言うと、否定してもらったおかげで「やっぱりこれじゃダメなんだ」と再確認できたので、そういう意味では送って（そして落ちて）よかったと思います。

やっぱり、時間をかけて小説を書く以上、自分が納得できる作品を書かなきゃね！

当たり前のことかもしれませんが、こうして実際に失敗してみて、改めてその決意が強くなりました。

一次落ちの選評がまとめて届いたら、きつものすごくへこんで、執筆意欲がなくなるんだろうなあ……。

ところが、どっこい！

実際そうなってみると、テンションが落ちるところか、執筆意欲が上がります！

たぶんコレ、投稿初期の自分だったら、激しく落ち込んだと思うんです。

「残念ながらまだまだ力不足」というコメントを読んで、「ああ、やっぱり自分には才能がないんだ……」みたいな。

でも今は、選評の一言よりも、自分の過去を信じています。

これまで小説投稿のために勉強した時間は長く、執筆に捧げた労力は膨大で、止められなかった悔し涙がどれほど多いか。

そういう積み重ねの上に、今の自分が存在しているわけで、その4年間が無駄だったとは到底思えないんです。

まあ別に、「選評は間違いで、自分は最強だ！」と言いたいわけじゃなく、まだまだ力不足なのは真実なんだと思いますが……。

でも正解がわからないから試行錯誤をしているわけで、そうすると「誤」にぶつかる瞬間は絶対にあるけれど、試行錯誤すること自体が間違いなわけじゃないですよ。

そう思うからこそ、早く新しい作品を書いて、自分の力を証明したい！

成功した作品も失敗した作品も、理想というパズルを完成させるピースなんだと思って、これからも頑張ろうと思います。

G Aの選評が3通同時に届いて、相当なダメ出しを受けました。

昨日も書いた通り、読んだ瞬間は逆にテンションが上がって、「次は絶対にダメ出しされない作品を書くんだ！」と思ったんですが。

寝ようと思っていざ布団に入ったら、胸がモヤモヤして、夜中の3時頃まで眠れませんでした。

それでね。

天井を見上げながら、一人で考えたんです。

自分はただ文章を書くことが大好きで、楽しい気持ちを皆に伝えたいだけなのに、どうしてこんなに苦しまなきゃいけないんだろう？ って。

そう思ったら、悔しくてやるせなくて、涙が止まりませんでした。

鼻血で枕を濡らした経験はありますが、涙で枕を濡らしたのは、これが初めてのこともかもしれません。

それでどうしたかと言うと、台所にこっそり忍び込んで、ポテトチップス（しかもパーティーサイズ）を一人でたிரげました。

ワイルドだろおー？

そんな深夜のヤケ食いですけど、これで体型までワイルドになったら、完全にG Aの責任ですね。

とまあ、そういう夜もありますが、それでも投稿が好きなのでやっぱり頑張ります。

これほど届けたい想いがあるのに、まだ何も伝えられてないんだから、やめるわけにはいきませんよね！

G Aで一次落ちした、ザビエル様の評価シートが届きました。

先に届いた3枚はイエローカードでしたが、今回は完全に一発退場のレッドカードで、「この作品が本当に魅力的なのかどうか、作者は一度冷静に振り返った方がいい」というようなことを言われました。

最初からメガンテ作品のつもりではあったけど、ここまで壮絶な自爆を遂げてしまうと、悲しい気持ちを乗り越えて世の無常を感じます。

まあでも、後悔はありません！

小説は自分が一番輝ける場所であるはずなのに、そこで自分を殺してしまったら、わざわざ書く意味がなくなってしまいますよね。

宣教師萌えに需要がないことはさすがに自分でもわかっているので、そのコメントは受け入れますが、自分の書きたいことはこれからも大切にしようと改めて誓いました。

それから、前回の記事で心配してくださった方は、ありがとうございました。

夜中の3時まで眠れなかったのは事実ですが、夜中の2時までドラクエをやっていたので、実際に眠れなかったのは1時間という詐欺記事です。

ドラクエ7は、面白いです！

2月に発売されたゲームの感想を言うのも今さらですが、オリジナル（PS版）の面倒だった部分がうまく解消されて、ストーリーはそのまま手軽に遊べる内容に仕上がっています。

とにかく最近はそういう感じなので、インプット&ネタを蓄えつつ、初夏までのんびりしようと思います。

近ごろ就活で鬱になる学生が増えていて、それが社会問題になりつつあるらしいですが、投稿で鬱になったワナビにも何らかの社会的配慮が欲しいと願う次第です。

まあでも、実際は大丈夫！

ただ単につらいだけだったら逆ギレしてやめますが、執筆がいかに楽しいかをもう十分に知っているので、瞬間的に心が離れることがあっても、自分は何度だって立ち上がれます。

しかし、それでも悔やまれるのは、今回の選評が2回にわたって届いたことです。

おかげさまで、家族に無言で封筒を渡されるという屈辱を、2回続けて味わうことになったじゃないか……！

おまけに封筒を開けてみれば、レッドカード級のダメ出しが並んでいて、「ヤメテ、死んじゃう！」みたいな。

そんなわけで、深夜の悔し泣きからの、ポテトチップスむさぼり食い。

袋に「みんなでワイワイ、パーティーサイズ」と書いてありましたが、真夜中のヤケ食いには実に丁度いい量で、カルビーナイス！

……などの体験をし、投稿は楽しいなあと、改めて感じました。

何もかもがどうしてもよかった頃は、涙も全然出なかったですからね。

悔しさを理由に泣けるのは、自分が本気な証拠であって、素晴らしいことだと思います。

そんなわけで、ここ数日の間、選評のグチが続きましたが。

次からは平常運転に戻りますので、引き続きよろしくお願いします。

何回落選しても、伝えたい気持ちが消えない限り、投稿はずっと続けていきたいです！

皆様、こんばんは。

今日は誰かに見せたくくなるような、本当に素晴らしい青空でしたね。

ところで、6月実施の語彙・読解力検定と、日本語検定に申し込みました。

今回は両方1級です。

2日連続ですが頑張ります。

ちなみに、執筆に役立つという意味では、日本語検定の方が個人的にオススメです。

語彙・読解力検定の方は、語学力というよりも、一般常識や時事問題が中心なので。

まあ、とにかく。

自分は読みやすい文章を書くことに命を懸けているので、キャラやストーリーにダメ出しされるのはいいんですが、文章力に低評価をつけられることだけは絶対に許せません。

何が許せないって、評価シートを書いた相手じゃなく、そんな評価シートを書かせてしまった自分自身が許せません。

よーし！

今生まれたこの怒りを、頑張る力に変えるんだ！

……というわけで、その時期は締切りもないし、両方申し込みました。

別に資格を取ったからといって、すぐにいい文章が書けるわけでもないですが、何もしないよりはした方がいいに違いないので、できる努力は全部しておこうと思います。

というわけで、今日は真面目な記事でした。

明日はちょっと気を抜いて、ドラクエについて語ろうと思います。

今日は完全にゲームレビューです。

自分は1からドラクエをプレイしていますが、7はもっとも好きになれなかった作品でした。しかし今回の3DS版は、PS版の悪かった点が、かなり解消されていたように思います。

まず、PS版をプレイした時に感じたことは、

- ・過去世界では歩くしかないの（ルーラ不可&乗物なし）、移動が果てしなく面倒
- ・次に行く場所が基本的に決まっているので、自由度が少ない
- ・ボリュームが多すぎて、中盤に中だるみを感じる

などの理由があって、「滅びる運命だった町を救って、世界を徐々に広げていく」という壮大なストーリーとは裏腹に、プレイ中にもものすごい閉塞感を覚えた記憶があります。

しかし3DS版では、その閉塞感が、かなり解消されています。

具体的には、

- ・移動速度が速くなった
- ・町やダンジョンで、マップの常時表示
- ・戦闘のシンボルエンカウント化（ある程度よけられる）
- ・ストーリーに行き詰まった時に、ヒント（というかほぼ答え）が聞ける

等々の改良点のおかげで、内容はそのまま、手軽に遊べるようになりました。

元々ドラクエは、携帯版で難易度が下がる傾向にありましたが、今回は顕著です。

以上が、主な感想です。

2月に発売されたゲーム（しかも超メジャー作）なので、自分がレビューするのも激しく今さらですが、やっとクリアしたので記念に感想を書きました。

おそらく廉価版が出るだろうと思われませんが、今購入しても、価格分の価値は十分にあると思います。

自分も最初そうでしたが、「PS版が好きじゃなかったから購入を迷っている」という方がいれば、是非オススメしたいです。

今日バスに乗ろうとしたら、停留所に辿り着いた瞬間に、ちょうどバスが発車してしまいました。

しかし運転手さんは気付いてくれて、「お前も乗るか？」って顔で見られたんです。

嬉しい、彼はわかってくれた……！

でも素直に優しさを受け取るのは、なんだかちょっと恥ずかしい……！

そんなわけで、「乗りたいの違う路線だしー」みたいな顔でそっぽを向いたら、そのまま発車されてしまいました（当たり前）

それはそうと、えんためガールズに投稿完了！

準備は前からできていたんですが、そろそろ締切りも近付いてきたので、そろっとポストに投げてきました。

しかし、今回は二度目の参戦ですが、通過できそうな気がまったくしません。

一次でもそうなんだから、二次以上の評価シートなんて、完全におとぎ話の世界です。

それなら何故送るかというと、祭りを楽しむためだけええい！

春が年一番の締切りラッシュなので、当然といえば当然なんですが、夏は年一番の発表ラッシュなわけですよ。

「秋締切り⇒冬発表」も一つの山ではありますが、夏はそれ以上に日程が集中しているので、参加できる祭りには全部参加しておきたいなあと。

そんな事情で、色々な賞にさみだれ投稿している次第です。

たくさんの方が参加する一次祭りも夏らしいし、不確定情報に泣き笑いする二次祭りも味があるし、今年はどんな波乱があるのか今から本当に楽しみです！

もうすぐ友人の結婚式なので、阪急百貨店で祝儀袋を買ったら、無料で名前を書いてもらえました。

たった400円程度なのに、ありがたいサービスですね。
近所のホームセンターで買わなくてよかったです。

それはそうと、グランフロント大阪が、ついに明日オープンします！



素通りするつもりだったんですが、青空が綺麗だったので、うっかり写真を撮っちゃいました。

大阪駅からの連結デッキに、以前は柵がありましたよね。
それがなくなっていたので、ちらりと覗いてみると……。



西側（ヨドバシじゃない側）の風景です。

右の建物がグランフロントで、左奥のスカイビルはお馴染みですね。
大きな池（噴水？）があって、憩いの広場という感じです。

そして南館の6階には、紀伊國屋がオープンするということで、行くのが楽しみです。

ジュンク堂2つも好きですが、あえて贅沢を言うと、駅から微妙に遠いんですよね。
片方に在庫がなくてハシゴする時なんて、完全に梅田の端から端ですし……。

とにかくそういうわけなので、明日は無理ですが、GW中に行ってみようと思います。

昨日のアクセス不自然に多いなあーと思っていたら、SDやMF、富士見ファンタジアなどで発表があったんですね。

結果を見てきましたが、SDの受賞作が2本だけだったので、正直ビックリしました。

最終の拾い上げはあるのかもしれないけど、応募総数を考えると、ここも本当に狭き門だなあーと思います。

そして、「スーパーダッシュ&ゴー！」休刊のお知らせ……。

あの雑誌は割と創刊したばかりで、おまけに、あんなに力を入れていたのに……。

しかしSDは落ちても選評に納得できる場合が多いし、自分が二次通過できた数少ない賞でもあるので、投稿者の評判はそこまで良くないみたいですが、これからも引き続き投稿するつもりです。

それから、なろう大賞の応募総数が発表されました。

先ほどチェックしましたが、760作品ということでした。

初回ブーストで1000に届くかな？、と思っていたんですが、まあでも予想通りという印象ですね。

そして、一次発表の時期は8月だとか。

えんためや電撃に比べるとやや遅めですが、一次発表の時期が明言されたので、まずはその部分に安心しました。

評価シートの返送は、発表後順次ということなので、夏の終わり頃には届くかな？

とりあえず8月の予定になっている一次発表も、それより早まる可能性があるということなので、かなり気が早いですが今から楽しみです。

うたぐり深いヤツになっちゃったのは
週刊誌のせいじゃない 評価シートのせいでしょ

……という風に、B'z の名曲を脳内で投稿ネタに変えると、自分のテンションがとても上がります。

それはそうと、一次落ちすると、「はぁ～ぁ」って気分になりますよね。

自分はかなり負けず嫌いなので、落ちてやる気が上がる時もあります。
でも、瞬間的にやる気が上がっても、なかなかモチベーションが持続しません。

次の作品の構成を練っている瞬間、ふと無意識のうちに、こんな風に考えてしまうんです。

「そんなに頑張ったって、どうせまた落ちるよ？」
「今回も自信作だったのに、一次落ちだったじゃん？」

前向きに頑張る自分に、自分自身が水をさして、結局「はぁ～ぁ」みたいな。

それでしばらくの間は、「こんなことやってられるか！」と逆ギレして、執筆から離れるわけです。

でもやっぱり、他の趣味に時間を使っていると、「遊んでいる場合じゃない」「早く創作に戻らなきゃ」って思うんですよね。

投稿は仕事ではなく好きでやっていることなので、他の趣味と比較して優劣はないはずなのに、自分の中ではやっぱり一番上にあります。

だからこそ。

期待と逆ギレを何度も繰り返しつつ、これからも長く続けていこうと思います。

何度も繰り返し書いてしつこいですが、4作一次落ちというGAの結果について、いまだに理由を考えてしまう瞬間があります。

それで、ふと思い出したんですが。

たしか作品を投稿する前、正直ものすごく自信があって、このブログに「今回の作品はスーパーひとし君」って書いたんですよ。

しかし実際にフタを開けてみれば、その作品はあっさり一次落選。
それ以外に送った作品も、結構自信があったのに、あっさり一次落選。

……んん？

そうか、わかった！
スーパーひとし君の作品が落ちたから、他の作品もそれに連動して落ちたんだ！

そう思って深く納得したものの、実際はそんなシステムあるわけないので、ちゃんと読まれて落とされたに決まっています。

というわけで、正解は「4作品ともつまらなかった」でした！

……………。
寂しすぎる……………。

まあでも、自信作が落選して切ない思いをしても、該当の記事を消そうとはまったく思わないし、期待や意気込みは今後も書き続けるつもりです。

それを赤裸々に発信してこそ、投稿ブログってもんだよね！

成功体験も失敗体験もさらけ出して、よりいっそう共感できる『らくだ図書館』になれるよう、これからも精進しようと思います。

えんためガールズに引き続き、えんため大賞にも投稿しました。

今回通ったら3年連続なので、頑張っで欲しいところです。
そしてそろそろ、ガールズの方も、通過歴が欲しいです。

ところで、タブレットを買おうかなあ、と思う今日この頃。

自分が今持っている携帯機器は、Galaxy S2 と iPhone 3G なのですが、PDF の見にくさは両方とも苦行レベル……。

まあそれは、端末のせいではなく、液晶画面が小さいから仕方ないんですが。
だからこそ、PDF をストレスなく閲覧できる、薄型タブレットが欲しいなあ。

ちなみに、何に使うかといえば、自分の作品の読み返しです。

今は完成作品を印刷して、クリアファイルに入れて読んでいるんですが、それも結構手間なんですよ。

何より A4 サイズ 100 枚のファイルを作ると、それだけで相当な重さになるので、ダラダラ寝転びながら読めないです。

あと、印刷はどうしても作品完成後になっちゃいますが、タブレットなら執筆中（完成前）でも気軽にデータを流せるから、あいた時間に原稿のチェックができて便利だろうな、とも思います。

そんなわけで、タブレット買おうかなあーと。

本の購入も自炊もせず、ただ PDF を閲覧したいだけなので、安い機種でいいんですが。
何を買えば一番いいのか、調べてみようと思います。

ゴールデンウィーク真っ盛りですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

今年はカレンダー的に3連休&4連休なので、どう過ごしていいのか、困ってしまう方も多かったことでしょう。

ちなみに自分は、自宅でダラダラし続けるという、安定した引きこもりっぷりを発揮しています。

それはそうと、Kindle Paperwhite を購入しました！

Galaxy Tab や iPad mini など考えたんですが、ネットは特にしない予定なので、それなら電子書籍リーダーで十分かなあと。

ちなみに、昨日も書きましたが。

購入の目的はただ一つ、自分の小説を読むために買いました。

作品チェックをしようにも、紙原稿 100 枚の状態だと、重くて扱いが大変ですからね。

それからクリアファイルを手に取ったけど、ふと別の作品が読みたくなったという時に、本棚までファイルを取り替えに行くのも面倒ですし。

あともう一つ、「あの作品のあのシーン、どんな風にかいたっけ？」と思った時、パソコン内の過去作品フォルダをあさることなく、手元で確認できたら作業効率も上がるんじゃないかなと。

まあね。

作業効率の問題はただの建前で、実際は、怠け者だから買ったんですが。

ゴロゴロとベッドに転がりながら、ダラダラと自分の作品が読めたら、おそらく最高に幸せだと思います。

明日届く予定なので、どの程度目的を果たせるのか、届いたら検証してみます……！